

※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年4月14日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：4/4-4/11)



	週間	月間	YTD
VN指数	0.97%	-6.46%	-3.50%
VN30指数	2.30%	-3.95%	-2.59%
VN中型株指数	-1.24%	-10.84%	-9.41%
VN小型株指数	-1.14%	-10.32%	-10.29%

先週のVN指数は1210.67ポイントから1222.46ポイントへと、0.97%の上昇に転じました。休場明け8日のベトナム株式市場は、トランプ米政権による相互関税に対して中国が報復関税で応じたことで、貿易戦争の激化懸念から世界同時株安となった流れを受けて急落いたしました。しかし、週後半にはトランプ米大統領が中国を除く一部の国・地域に対して相互関税の上乗せ分を90日間停止すると発表したことで上昇に転じました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が+2.30%と反発いたしました。一方、中型株指数が-1.24%、小型株指数が-1.14%と続落しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	-1.64%	-4.79%	-10.36%

通貨ベトナムドンにつきましては、週半ばにかけて米ドルに対して下落しましたが、相互関税の90日間停止を受けて持ち直し週間でほぼ変わらずとなりました。一方、ドル円相場は、米中の関税合戦が激しくなる中、低リスク通貨とされる円が買われ、ドル安・円高が進みました。ベトナムドンは円に対して-1.64%と下落を続けました。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	1.7%	素材	-1.6%
不動産	3.5%	公益事業	0.7%
生活必需品	-0.5%	エネルギー	-3.8%
一般消費財	-0.2%	情報技術	4.5%
資本財	-1.7%	ヘルスケア	3.3%

セクター別に見ますと、5セクターが上昇に転じました。特に右下から2番目の情報技術が+4.5%、左上から2番目の不動産が+3.5%と反発しました。一方、右真ん中のエネルギーが-3.8%と下落を続けました。

銘柄名[ティッカー]	騰落率
サイゴンビール（生活必需品）[SAB]	+13.0%
ビンググループ（不動産）[VIC]	+11.7%
ビンホームズ（不動産）[VHM]	+6.4%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
ベカメックス（不動産）[BCM]	▲8.9%
ベトナムゴム工業グループ（素材）[GVR]	▲6.0%
バオ・ベト・ホールディングス（金融）[BVH]	▲2.5%

大型株のVN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、増配を発表したサイゴンビールが+13.0%と大幅な上昇に転じ、複合企業のビンググループが+11.7%と続伸しました。また、不動産開発大手のビンホームズが+6.4%と反発しております。一方、下落銘柄は、工業団地開発大手のベカメックスが-8.9%、ベトナムゴム工業グループは-6.0%、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが-2.5%とそれぞれ続落しております。

VN指数直近1年の推移



先週のVN指数は、トランプ米大統領が相互関税の上乗せ分を90日間停止したことで持ち直しました。ベトナムのフォック副首相が米ワシントンでグリア米通商代表部と会談し、早期に通商協議を行うことを提案したほか、ベトジェット航空と米金融会社との大型契約の調印式に出席するなど、ベトナムは官民一体となって難局を乗り切ろうと動いております。株式市場は変動性の高い展開を続けると想定されますが、バリュエーション面では足元の予想PERが9倍程度と割安感が強いとみられます。

以上